

組合會議主要日誌

(自昭和八年十月
至昭和九年九月)

昭和八年十月

- △十五日 「組合會議時報」第五號發行
- △二十五日 第一回(擴大)執行委員會を東京に於て開催
- △二十八日 第二回大會の決議事項を歸し、正副議長、書記長、委員十一名首相官邸を訪ひ、首相不在のため書記官長に面接詳細に陳情す。
- △三十一日 正副議長、菊川執行委員が首相と會見同様陳情す。

十一月

- △五日 第十七回國際労働總會出席の阪本労働代表大洋丸にて横濱歸着
- △六日 北海道地方協議會結成大會
- △九日 米澤書記長パリに開催の聯合海事委員會に出席のため、横濱出帆の秩父丸にて渡歐、堀内長榮氏書記長代理となる。

△十三日

九州地方協議會第二回大會開催さる。

△二十五日

政務委員會開催 産業及労働の統制に関する建議を審議決定

十二月

- △九日 「産業及労働の統制に関する建議」を齋藤首相に提議す。
- △十六日 組合會議主催の産業及労働統制座談會を東京丸の内東京會館に開催。

昭和九年一月

- △十五日 第二回執行委員會を神戸海員組合樓上に於て開催
- △十九日 第十八回國際労働總會の日本労働代表委員及び同顧問の届出をなす。
- △二十二日 中部地方協議會結成大會

二月

- △五日 「組合會議時報」第六號發行
- △六日 米澤書記長歐州より歸朝

三月

- △二十一日 神戸地方協議會結成大會
- △二十五日 第三回執行委員會が大坂に於て開催

四月

- △十七日 夜大阪東區紅團亭に於て、來朝中の國際労働事務局次長モレルツト氏同僚員鮎澤慶氏の歓迎會、並に日本労働代表一行の送別會を開催す。
- △十八日 第四回執行委員會を大阪労働學校に於て開催
- △十九日 日本労働代表一行の送別式を後一時、神戸海員組合講堂に於て行ひ、同三時一行は伏見丸にて神戸出帆

五月

- △一日 メーデー各地に於て開催
- △十日 亞細亞労働會議の結成大會が、セイロン島コロンボ、セイロン労働同盟本部に於て舉行さる。
- △二十二日 オーストリ労働階級救済者救援金として邦貨百五十圓を在露麻菊川労働代表に送附、I.F.T.U.總主事スケアネル氏に手交を依頼す

六月

- △十二日 常在書記として上條愛一氏就任執務す
- △十五日 東京瓦斯産業労働組合の脱退届、議長宛提出さる。
- △十八日 東京丸の内會館に於て、膳、渡邊兩氏(資本家側の主催の勞資懇談會開催、組合會購より、副議長、書記長、堀内、河野、山川、齋藤、池上、巖、渡邊の諸氏出席
- △二十日 米澤書記長、労働正理事に選任さる。
- △二十五日